

塩山製作所 PDM センターは ワイナリーとして生まれ変わります

創業以来‘モノづくり’を通じ、半導体製造加工を中心に様々な挑戦を続ける塩山製作所（山梨県甲州市塩山下於曾 276 代表取締役：松坂浩志）は、山梨県甲州市勝沼町にあります弊社 PDM センターをリノベーションし、新規事業としてワイナリー事業を開始することとなりました。

勝沼の工場は 12 年余り半導体製造工場として稼働して参りましたが、オーナーである松坂自身がぶどう農家の息子として育ち、代々この地で丹精込めて育てたぶどうを引き継ぎ、より良い栽培方法を従業員とともに確立したいという思いがあること、品質に厳しい半導体製造で培ってきた経験を活かし、更に徹底した品質と衛生管理を保つノウハウがあること、何よりもこの地のぶどうで出来るワインが好きであることからこの勝沼の地でワイナリーとして歩いていくことを決意しました。

醸造設備はすべて新品で今は真新しいワイナリーですが、熟練の栽培家と醸造家、スタッフで試行錯誤を繰り返しながら、一年一年、この土地のワインを造り上げる所存です。

現在来春のワイナリーオープンに向けて、田子學氏（株式会社エムテド）をクリエイティブディレクターとして招致し、ワイナリースタッフ一同で準備を進めております。

なお、半導体事業については、今まで通り本社工場にて営業し、更なる発展を目指して参ります。

皆様のご指導を賜りながら精進してまいりますので、本社の半導体工場、そして新規ワイナリー事業につきまして、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



<ワイナリーについて>

名称	近日公開
場所	山梨県甲州市勝沼町等々力 601-17
オープン予定	平成 29 年 4 月予定

【塩山製作所とは】

当社は1953年の創業以来、「モノづくり」を通じ切削・研磨加工において独自の技術により『半導体ウェーハをより薄く、より小さくすること』に挑戦してまいりました。

現代の目まぐるしく変わる技術革新の中、当社では『Speed&Smart』のスローガンのもと、独自の技術をスピーディーに製造加工に取り入れることを強みとし、「モノづくり」をリードできる企業へと、全社一丸となって目指しています。

また従業員が安心して勤務し、お客様が満足頂ける「社会に貢献できる企業」を目指すべく、組織力を高め、経営資源を集中し、良いものをより早く、より安く提供できる体質づくりを進めています。

私たちは、仕事を通じて環境保全活動に取り組み、この美しい甲府盆地の自然を残すことで、明るい未来が開けるよう活動してまいりました。今後はワイナリー事業を通して、さらなる環境への取り組みを進めてまいります。

【クリエイティブディレクターについて】

田子 學 Manabu Tago

(株式会社エムテド代表取締役／アートディレクター・デザイナー)

東京造形大学 II 類デザインマネジメント卒。

広い産業分野においてコンセプトメイキングからプロダクトアウトまでをトータルにデザインする「デザインマネジメント」で、社会に向けた新しい価値創造を実践している。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授。
東京造形大学 デザイン学科 特任教授。2015年5月より京都府与謝野町のクリエイティブディレクターに就任。

当社ワイナリーのブランド構築に際し、トータルにディレクション、デザインを行っている。

